

東日本大震災により被災した幼児児童生徒の 学校における受入れ状況について【Q & A】

(平成23年8月8日)

※受入れ状況調査の回答に際しては、本Q & Aも御参照ください。

問1 福島県から避難してきた児童について、当初は〇〇県内のA小学校において受け入れ、その後、同一県内のB小学校に転学した例がある。
この場合、「福島県から受け入れた数」と「都道府県内の学校から受け入れた数」のどちらにカウントすべきか。

答1 「福島県から受け入れた数」にカウントしてください。

本調査は、震災の影響により、どれだけの幼児児童生徒が、当時通っていた学校から、他県等の別の学校で受け入れられたかを把握する調査です。このため、把握可能な範囲で、当時の出身県に基づき回答してください。

なお、都道府県をまたいで移動した場合でも、同様の理由から、「福島県から受け入れた数」にカウントすることとなります。

問2 ①宮城県から避難してきた児童Aを、4月に〇〇県内の小学校において受け入れたが、6月に宮城県の学校に転学していった。
②その後、8月に、同じ児童Aを、再度〇〇県内の小学校において受け入れることとなった（震災の影響によるものであると確認されている。）。
この場合、〇〇県における児童Aのカウントの仕方はどのように考えればよいか。

答2 同じ児童であっても、「調査日現在の受入れ数」としてカウントしてください。

①の状況においては、児童Aは、5月1日現在の受入れ状況調査では、「宮城県から受け入れた数 1名」としてカウントされます。

その後、②により同じ児童を受け入れたとしても、9月1日現在の受入れ状況調査では、「宮城県から受け入れた数 1名」としてカウントされます。

(例) 〇〇県の学校において受け入れた児童が、児童Aのみであった場合、5月1日現在の受入れ状況調査でも、9月1日現在の受入れ状況調査でも、回答すべき数は「宮城県から受け入れた数 1名」となります。